

会社のあゆみ

- 昭和 36 年 5 月 12 日 鉄道建設審議会において福島～槻木間が工事線に格上
- 昭和 39 年 12 月 1 日 槻木～丸森間について路盤工事着手
- 昭和 41 年 9 月 30 日 福島～丸森間について路盤工事着手
- 昭和 55 年 12 月 27 日 日本国有鉄道経営再建促進特別措置法成立
- 昭和 56 年 9 月 18 日 丸森線が特定地方交通線として承認
- 昭和 59 年 4 月 5 日 第三セクター阿武隈急行株式会社設立（資本金 5 億円）
- 昭和 61 年 7 月 1 日 丸森～槻木間先行開業
- 昭和 63 年 7 月 1 日 福島～槻木間全線電化開業
- 平成 2 年 6 月 25 日 本店を福島県伊達郡梁川町に変更
- 平成 12 年 1 月 4 日 日本鉄道建設公団国鉄清算事業本部から鉄道施設を無償譲受引受け
- 平成 23 年 3 月 11 日 東日本大震災により全線に亘り被害
- 平成 23 年 5 月 16 日 66 日ぶりに全線運行再開



阿武隈急行株式会社



Corporate Guidance

会社案内

地域と共に 歩む鉄道



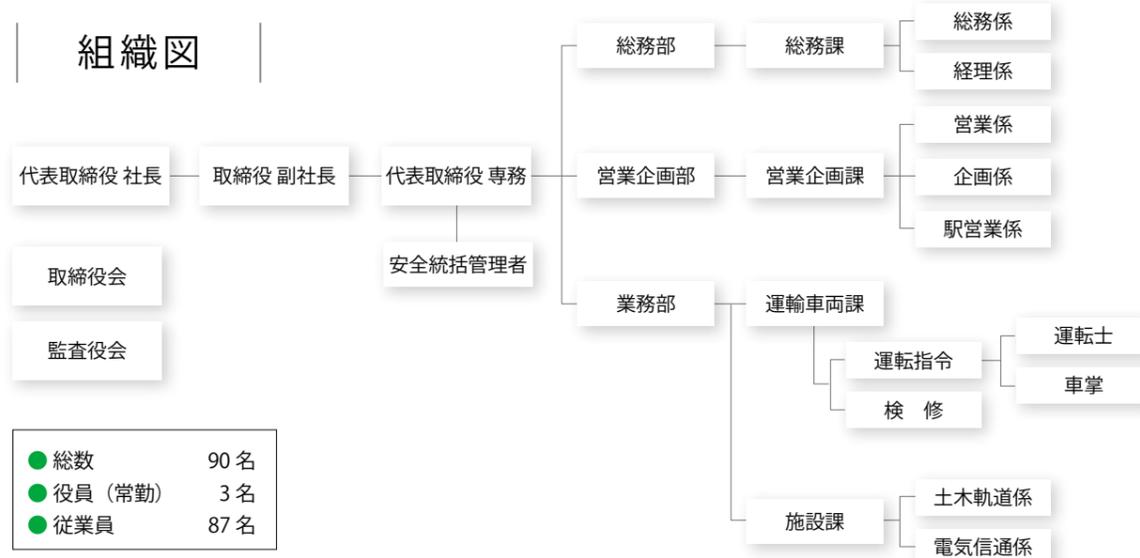
会社概要

所在地 福島県伊達市梁川町字五反田 100 番地 1
 電話番号 024-577-7132
 設立年月日 昭和 59 年 4 月 5 日
 営業開始 昭和 63 年 7 月 1 日 (全線電化開業)
 資本金 授權資本 20 億円
 払込資本 15 億円
 株式の状況 発行する株式総数 4 万株
 発行済株式総数 3 万株
 株主数 21 名
 役員総数 取締役 13 名 (常勤 2 名)
 監査役 3 名 (常勤 1 名)
 計 18 名
 従業員総数 正社員 71 名
 嘱託等社員 8 名
 臨時社員 8 名
 計 87 名

(平成 24 年 1 月 1 日現在)



組織図



● 総数	90 名
● 役員 (常勤)	3 名
● 従業員	87 名

運営・施設設備概要

□ 線区の概況

運転区間 福島～槻木
 (福島～矢野目間：複線、矢野目～槻木間：単線)
 営業キロ 54.9km
 (福島県側 26.8km、宮城県側 28.1km)
 駅数 24 駅
 (有人駅 5、無人駅 19、行違駅 9 (両端駅を含む))
 運賃 営業キロ程により計算する

□ 運転本数 (1 日 82 本)

上り 40 本 (仙台直通 2 本含む)
 下り 42 本 (仙台直通 2 本含む)

□ 運転所要時間

福島～槻木間上り 72 分、下り 71 分

□ 最高運転速度

95km/h

□ 車両関係

車両数 8100 系 18 両 (M 車 9 両、T 車 9 両)
 A417 系 3 両 (M 車 2 両、T 車 1 両)
 車両編成 8100 系 1 編成 2 両 (1 ユニット) 又は
 4 両 (2 ユニット)
 A417 系 3 両 (1 ユニット) H20.10.30 営業運転開始

□ 保線関係

軌間等 1,067mm (25m の定尺及びロングレール)
 単線電化 (複線電化：福島～矢野目間)
 橋梁 219 箇所 3,666.81m
 (最長：第 1 阿武隈橋梁 353.3m)
 トンネル 28 箇所 6,424m (最長：羽出庭 2,281m)
 踏切 18 箇所 (うち JR 所属 9 箇所)
 最急勾配 10‰
 最小曲線半径 500m

□ 電気関係

受電電圧 交流 60,000V (公称)
 電車線の電圧 交流 20,000V
 変電所 保原変電所
 閉そく方式 自動閉そく方式
 自動列車停止装置 ATS-Ps (平成 23 年 3 月)
 列車集中制御装置 (CTC) 制御 駅：梁川車両基地
 被制御 駅：11 箇所

車両諸元

項目	車両・形式	8100 系		A417 系		
		AM8100	AT8100	AM417-1	AM417-2	AT418
主要寸法 (mm)	車体長	20,000		20,000		
	車体幅	2,940		2,950		
	車体高 (パンタグラフ折りたたみ時)	4,290	3,650	4,070	4,240	4,070
定員	114 (座席定員 68)	110 (座席定員 64)	108 (座席定員 61)	124 (座席定員 68)	107 (座席定員 60)	
車両重量 (t)	41.4	31.5	42.0	42.0	39.0	